

<b>ジメタメトリン・プレチラクロール粒剤 バレージ粒剤</b>	<b>取扱メーカー：</b> 協友アグリ，住友化学  <b>原体メーカー：</b> 日産，シンジェンタ
<b>成分：</b> ジメタメトリン〔トリアジン系〕……………0.10% プレチラクロール〔酸アミド系 PRTR・1種〕……………2.0%	<b>性状：</b> 類白色細粒 <b>毒性：</b> 普通物 <b>消防法：</b> —

### 【品目特性】……………

- 2つの成分を配合し，本田初期のアオミドロ及び表層はく離を他の雑草と同時に防除する。すなわち，水田一年生雑草から多年生雑草まで，広範囲の水田雑草に優れた除草効果を示し，あわせてアオミドロ・表層はく離の発生を抑制する。
- アオミドロ・表層はく離に対しては処理後2週間程度発生を抑える。従って，トリアジン系の化合物を含有する中期剤を体系で使用すれば中干までの期間田面水を透明に保つことができる。
- 処理適期幅が広く，雑草発生前からノビエの1.5葉期まで使用できる。
- 低温条件下で雑草がガラガラ発生する場合でも安定した除草効果があり，通常の体系処理で問題なく防除できる。
- 有効成分の特性は参考資料の「有効成分特性一覧表」を参照。

### 【使用上のポイント】……………

- 共通注意事項の5，水稲除草剤散布 使用上のポイントを参照。
- 雑草の発生前から発生始期に有効なので，ノビエの1.5葉期までに時期を失ないように散布する。なお，多年生雑草は生育段階によって効果にフレがあるので，必ず適期に散布するように注意する。

雑草名	散布適期
ホタルイ ミズガヤツリ ヘラオモダカ	発生前～発生始期まで
アオミドロ・藻類による表層はく離	発生前

- コナギ多発田での使用は，効果が劣ることがあるのでさける。
- 中期除草剤との体系処理で的確で長い抑制効果が期待できる。

### 【薬効・薬害等の注意】……………

- 共通注意事項の5，水稲除草剤散布 薬効・薬害等の注意を参照。
- 適用作物（水稲）の薬害などの注意は「薬害注意事項解説」を参照。

### 【安全対策上の注意】……………

- 魚類に影響を及ぼすので，養魚田では使用はしない。
- 藻類に影響を及ぼすので，使用时並びに使用後も注意。



【適用と使用法】 .....

作物名	適用雑草名	適用土壌	使用時期	10 a 当り 使用量	使用 方法	適用地帯	本剤の 使用回数
移植 水稻	水田一年生雑草 マツバイ ホタルイ ヘラオモダカ ミズガヤツリ アオミドロ・藻類 による表層はく離	砂壤土～埴土 (減水深 2 cm ／日以下) (但し，近畿・ 中国・四国・ 九州では 砂壤土を除く)	移植後 3 日～ 10 日 (ノビエの 1.5 葉期まで)	3 kg	湛水 散布	東北・ 北陸以北	1 回 ※
			移植後 3 日～ 7 日 (ノビエの 1.5 葉期まで)			関東以西 の普通期 及び早期 栽培地帯	

※ジメタメトリンを含む農薬の総使用回数：2 回以内

※プレチラクロールを含む農薬の総使用回数：2 回以内